

氏名 _____ A委員

ページ番号	意見内容	回答	種別	担当室課
p.12 上	意識調査「問23」では「企業経営者や職場の理解」との回答が最も多かったです。事業者への効果的な意識啓発方法を工夫し、具体的取組に対する事業の評価「B」を改善していただきたい。	引き続き長時間労働の是正に向けた取組について、全職員に周知徹底するとともに、休暇の取得しやすい職場環境の整備に取り組んでまいります。	要望	人事部
p.16 下	毎年の男女共同参画週間には図書館内にテーマ展示コーナーを設置する等、男女共同参画センターの協力も得て、継続的な男女共同参画関連の情報収集及び提供に努めていただきたい。	今後も資料を収集するとともに、男女共同参画週間を中心に資料の展示やポスター、ポップ等の掲示を継続していきます。	要望	中央図書館
p.103 下	市独自の取組も進めていただきたいですが、DVについて多言語で相談できる内閣府男女共同参画局「DV相談+（プラス）」の市民への周知へ及び活用を促進していただきたい。	現在は多言語で対応できる相談先として「DV相談+（プラス）」を市ホームページに掲載しておりますが、今後さらにSNS等の利用など機会をとらえて、周知をはかるようにしていきます。	要望	男女C
p.129 下	今後とも、大阪府・他市町村の担当者と連携及び協力して情報共有を図り、深刻な案件にも対応していただきたい。	今後も大阪府をはじめ、関係機関と情報共有を行い、連携してまいります。	要望	人権政策室
p.154 下	他自治体の取組等も参考にして、女性市職員が管理職を目指すことに繋がるメンター制度の導入を検討されることを期待いたします。	他自治体での取組を参考にし、管理職を目指す女性職員が増加するよう、人材育成制度を検討してまいります。	要望	人事部
p.161 上	意識調査「問14」では、社会・地域活動への参加のさまたげとして、「やりたい活動をしているグループや団体を知らない」という回答が一定割合あります。市民活動やボランティア活動の推進のためには、現役世代も緩やかに関わられるような多様な活動方法の周知も有効的ではないでしょうか。	吹田市立市民公益活動センターにおいて、市民公益活動に関する相談、情報提供・広報の支援、「ボランティア・NPO 初歩講座」などの講座・研修の開催、交流・連携の促進等の事業を展開し、市民公益活動の支援を実施しています。 また、事業運営において、登録ボランティア（ラコルタサポーター）制度や、単発短時間で取り組める「ふちボラ」の制度でボランティア体験の機会を提供しています。	意見	市民自治推進室

氏名 _____ B委員 _____

ページ番号	意見内容	回答	種別	担当室課
17	人権教育の中身が見えない。	男女平等教育をはじめ、様々な人権課題について、各校で研修や学習に取り組んでおります。また、単年での計画ではなく、複数年での取組として、人権教育を推進していくよう指導しております。	意見	学校教育室
18, 19	「性別にとらわれない運営の推進に取り組んだ」→推進するために取り組んだ内容がわからない	・男女混合の要録や出席簿を活用し、性別に捉われない園運営に取り組んでいます。 ・「女らしさ」「男らしさ」というような性別に捉われた言葉かけをするのではなく、子供達が持っている個性（持ち味）を生かし、自己肯定感が持てるような教育・保育活動に取り組んでいます。 ・保育教諭などが園内外の研修を通じて意識変革を図るとともに、人権を尊重した教育・保育活動の推進を図ります。	意見	保育幼稚園室
60	積極的に取り組む企業を表彰する制度の検討がまだ？	市独自の表彰は困難ではありますが、市のホームページで国や大阪府の女性活躍推進を進める事業者のデータベースの紹介をして、その制度の周知に努めております。	意見	地域経済振興室
66	家庭教育学級での取り組み内容が不明。学級運営の負担感の軽減支援だけでいいのか。	講座の企画運営は、委託契約を結んだ学級毎に行っております。また、生活様式の変化により、保護者活動の負担増が理由で学級を閉鎖する事例が出ているため、開設学級数の維持及び増加のためには、運営方法の検討が必要であると考えます。	意見	まなびの支援課
74, 69	性教育の取り組みが知りたい。保健室や養護教諭の取り組みなどあるのでは？	各校において、性の多様性を理解した上で、性を含めた健康に関する指導は、児童・生徒の実態や課題に応じて、教育活動全体を通じて各教科等において関連づけて指導しております。また、必要に応じて養護教諭と連携する等、保健の学習において実践している学校もあります。	質問	学校教育室
73	図書館の特設を活用しての啓発広報の有用性はすばらしい。	特設を活用した啓発活動を継続していきます。	意見	中央図書館
94	男女共同参画センターのDV防止事業の講座内容などがよくわかってよかった。	今後もDVの予防・発見・支援・フォローと、段階やニーズに合った講座を企画・運営していきます。	意見	男女C
102	母子健診事業の取り組み内容がわかった。健診の問診時に説明というのは有効だと。	健診場面は保護者に出会える貴重な機会ですので、今後も引き続き取り組んでまいります。	意見	保健センター
136	子どもの権利条約の啓発に努めてほしいが、リーフレット配布だけでは。もっとさまざまな取り組みの工夫をしてほしい。	家庭児童相談室としましては、児童福祉法に子どもの権利条約の趣旨が盛り込まれていることから、児童虐待防止の啓発にあたり、リーフレットに子どもの権利条約の内容を掲載するなどの取組を実施しているところです。 子どもの権利条約の啓発につきましては、人権政策室をはじめとする様々な関係部署で、それぞれの観点で啓発に努めているものと認識しております。	要望	家庭児童相談課
147	小、中学生が相談できる窓口の充実。実際どれぐらいの相談があるのか。民間の相談窓口の存在も知らせてほしい。	教育センターが所管している教育相談事業における相談件数としては、令和元年度、来所相談で3,324件、電話相談で243件、出張教育相談（小学校）で2,796件、スクールカウンセラー（中学校）で9,835件ありました。多くは不登校や発達課題、心身の健康に関する相談でした。 なお、民間の相談窓口の紹介については青少年室が作成した「吹田市子ども・若者支援マップ」等を活用しながら必要に応じて周知して参ります。	要望	教育センター

氏名 _____ F委員

ページ番号	意見内容	回答	種別	担当室課
	今回全てに目標数値が示され、実績値とあわせての評価が理解できた。		評価	男女
5	育休取得率がアップし、企業側環境づくりのセミナーが増えてよかった。		評価	人事室
45	又、父親も参加しやすいように開催日の工夫もお願いしたい。	父親が参加できるよう開催日を土日に設定しています。今後も同じく土日に開催し、Webなどの方法も使って啓発していきます。	要望	男女C
54	プレゼンテーション能力向上の為の発声法講座の取組みは意外。自信をつける為の方法を学べた。		評価	男女C
72	性別をとわず、ジェンダーに配慮した取組みはこれからも教職員、多くの職場での研修充実、個人尊重の啓もうをお願いしたい。	ジェンダーを含む人権教育に特化した教職員研修については、令和2年度以降についてもキャリアステージや専門性に特化した研修として継続するとともに充実を図って参ります。	要望	教育センター
96	若年層は気づかずにDV、いじめ、ハラスメントを行っている事もあり、実例を示しての研修をお願いしたい。	中学生への出前授業では、ともに授業を行う大学生ユースリーダーによるロールプレイを行うほか、ユースリーダー自身の経験談や身近にある実例などをメッセージとして伝えるようにしています。また、恋愛に限らず友人関係、先輩後輩関係などにも置き換えて暴力の仕組みが学べるような授業内容を心掛けています。今後も生徒・学生自身がより気づきを得やすい授業内容を工夫していきます。	要望	男女C
99	保育士にソーシャルスキルについての学びを期待したい。小さい頃より他人を大切にすることを指導したい。	子供達が互いの個性（持ち味）を認め合い、自分も友達も大切にしながら安心して園生活を過ごせるよう、保育教諭が子供理解を深め、一人一人の思いに寄り添い、連携を図りながら教育・保育活動に取組んでいきます。	意見	保育幼稚園室

氏名 _____ G委員 _____

ページ番号	意見内容	回答	種別 担当室課
84	<p>新型コロナウイルスの影響でデイサービスやショートステイなどの利用が控えられている状況です。在宅で過ごす時間が増えているため、介護者の負担が増え虐待も増えることが懸念されるため引き続き支援していただきたいと思います。</p>	<p>市内15か所の地域包括支援センターと市役所高齢福祉室において、高齢者が身体的、心理的、経済的に不適切な扱いを受けている、介護や世話の放棄放任が見受けられる等の相談に応じています。コロナ禍にあり、家族間のストレスが高まることで深刻な事態に陥ることを防ぐ予防的相談窓口として地域包括支援センターの周知を図り、課題を抱える世帯の早期発見と支援に引き続き努めてまいります。</p>	<p>要望 高齢福祉室</p>

氏名 _____ H委員

ページ番号	意見内容	回答	種別	担当室課
全体として	A評価をつけているものの、本当にそれが貢献しているのかについては、第三者的目線でチェックすることが必要だと感じました。特に、広報の在り方は、アンケート結果を踏まえた工夫改善をしていただきたいと思います。	広報の在り方については、従来の市報等の紙媒体による手法に加え、インターネットを通じて様々な世代に発信できる方法を工夫していきます。	要望	男女
全体として	従前のもより、フォーマットが見やすく、わかりやすくなった。		評価	男女
18	学校教育室において、性別役割分担意識を払拭する教育や、多様性について積極的な教育をしていただきたい。	固定的な性別役割分担意識についての見直し等、継続して各校に指導していきます。	要望	学校教育室
34	評価欄が空欄	評価欄はBとなります。	指摘	教育政策室

氏名 _____ J委員 _____

ページ番号	意見内容	回答	種別	担当室課
全体	<p>各取組によりそれぞれ事情があることは理解できるが、「なぜこの実績値で評価がAなのか？」という項目が、以前より減ったものの、依然として相当ある。特に、数値目標を具体的に設定している項目については、事情があってその年度に数値目標を達成できなかった場合は、その事情を「令和元年度取組状況（取組の効果と課題）」の欄に理由をきちんと釈明したうえで、評価欄は「B」とする方がよいのではないかと考える。</p> <p>たとえば、人権政策室（男女共同参画担当）の「市審議会等への男女平等な参画」（p.157）も「B」が妥当ではないだろうか。</p>	<p>当該年度に数値目標を達成できなかった場合は、その理由を「当該年度取組状況（取組の効果と課題）」の欄に記載すること、また、評価方法についても改めて周知していきます。</p>	意見	男女
p.5	<p>男性市職員の育児休業取得率は、2016年度（1.5%）までは1%台だったが、2017年度以降急速に上昇してすでに目標値（5%）を上回っている。第5次すいた男女共同参画プランでは、目標値を引き上げてほしい。</p>	<p>男性市職員の育児休業取得率については、現状が目標値を超えていることもあり、第5次すいた男女共同参画プランへの目標値を掲載するにあたっては、より高い目標値を設定し取り組んでまいりたいと考えております。</p>	要望	人事室

氏名 _____ K委員

ページ番号	意見内容	回答	種別	担当室課
9	妊娠出産は女性の負担が大きい。父親は一部しか会えないとのことなので、直接が無理ならネットなども活用して、父親の参加を義務化してはどうかと思います。	義務化は困難ですが、現在、「いつでも学べる両親教室」として吹田市ホームページ上で沐浴方法など動画で閲覧できるようにしています。来所参加が難しい父親については積極的に活用していただけるよう、妊娠届出時に周知を図ってまいります。	意見	保健センター
10	男性向けの講座は、開催する館の数もですが、出席者の人数がどの程度なのかはわかった方が良くように思います。	平成29年度9館97人、平成30年度14館121人、令和元年度12館99人となっております。	意見	まなびの支援課
154,155	女性の管理職への登用は、市が見本となるように率先して増やしていくべきだと思います。	女性職員がキャリアアップを図れるよう、ワーク・ライフ・バランスに留意しながら、適性・経験を生かせる職や多様な知識・経験を身に付けることができる職への配置を進めてまいります。	要望	人事室
154,155	女性の管理職への登用は、市が見本となるように率先して増やしていくべきだと思います。	女性管理職登用促進にあたっては、校長・教頭だけでなく、教育委員会事務局へ割愛する指導主事も含め、計画的に育成していく必要があると認識しており、その確保に努めているところです。	要望	教職員課
131	DV加害者へのアプローチがとても重要に感じます。市だけでは難しい面もあると思うので、民間だけでなく府や国などの連携も必要ではないかと思っています。	加害者プログラム等について、国や府等の動向を注視しながら、研究を行います。	意見	男女